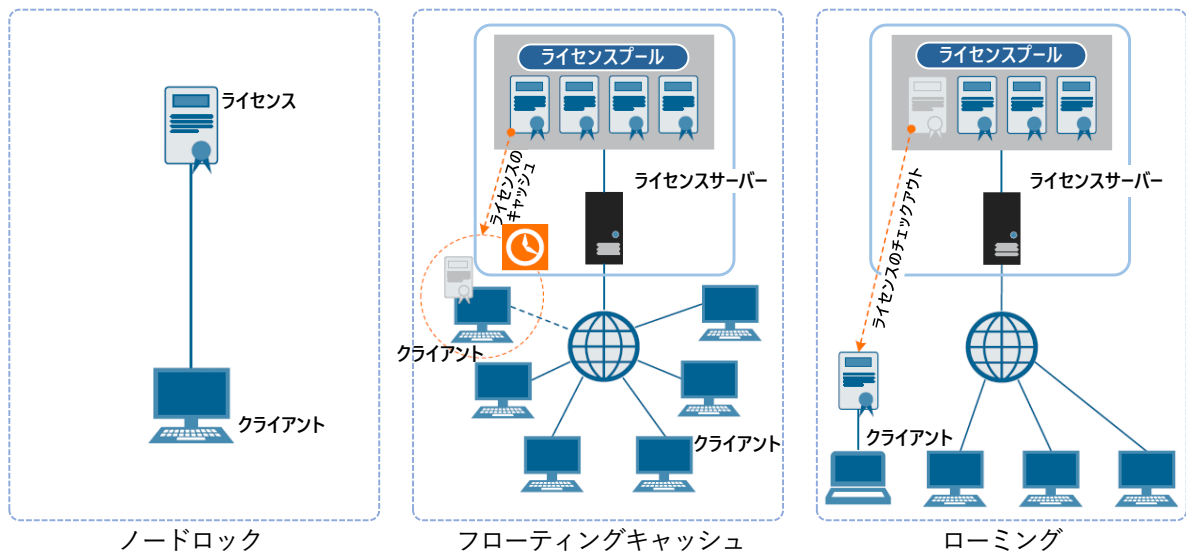


RLM ライセンス管理について

概要

HighTec の製品ではライセンス管理に RLM (Reprise License Manager) を使用しています。ライセンスの形態には下図に示すように、ノードロック・フローティングキャッシュ・ローミングの3種類があります。ノードロックライセンスは単一のコンピューター/ワークステーションのホスト ID に結びつけられたものです。フローティングキャッシュライセンスではライセンスサーバーを設定し、有限個のライセンスが設定されたライセンスファイル (ライセンスプール) をライセンスサーバー上に管理してネットワーク接続されたクライアント側で消費します。ローミングはフローティングキャッシュのオプションで、ライセンスサーバー内のライセンスプールからライセンスをユーザーサイドでチェックアウトして、数日間といった定められた期間だけ1つのクライアントでサーバーとの接続なしで使用できます。



ライセンスファイルの形式はプレーンテキストファイルとなっており、拡張子は .lic です。

● ノードロックライセンスの使用

ノードロックライセンスは、使用申請したコンピューターの MAC アドレスを含むライセンスファイルを既定のフォルダに置くことで使用できます。このフォルダは HighTec ツールのインストールフォルダ (Windows では例えば C:¥HighTec) 内の licenses であり、この場所を環境変数 RLM_LICENSE で C:¥HighTec¥licenses のように指定します。RLM_LICENSE は、通常デフォルトで HighTec ツールチェーンのインストーラにより設定されます。また、コマンドラインから `set RLM_LICENSE=C:¥HighTec¥licenses` とすることも可能です。

● フローティングキャッシュライセンスの使用

フローティングキャッシュライセンスを使用するには、ライセンスサーバーやそこで動作する RLM ツールが必要になります。クライアントが接続されるネットワーク上のどの PC もライセンスサーバーにすることができます。